人と人、地域と地域、
人と地域をつなぐ・・・

FURE サテライト新聞

2016年11月発行　第9号

FURE
イメージキャラ めばえちゃん

発行
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
（FURE）
相双地域支援サテライト
TEL　0240(23)6675
HP　http://ifs.fure.fukushima-u.ac.jp/

浪江町仮設商業施設
まち・なみ・まるしぇ
待望のオープン！！

NEW OPEN

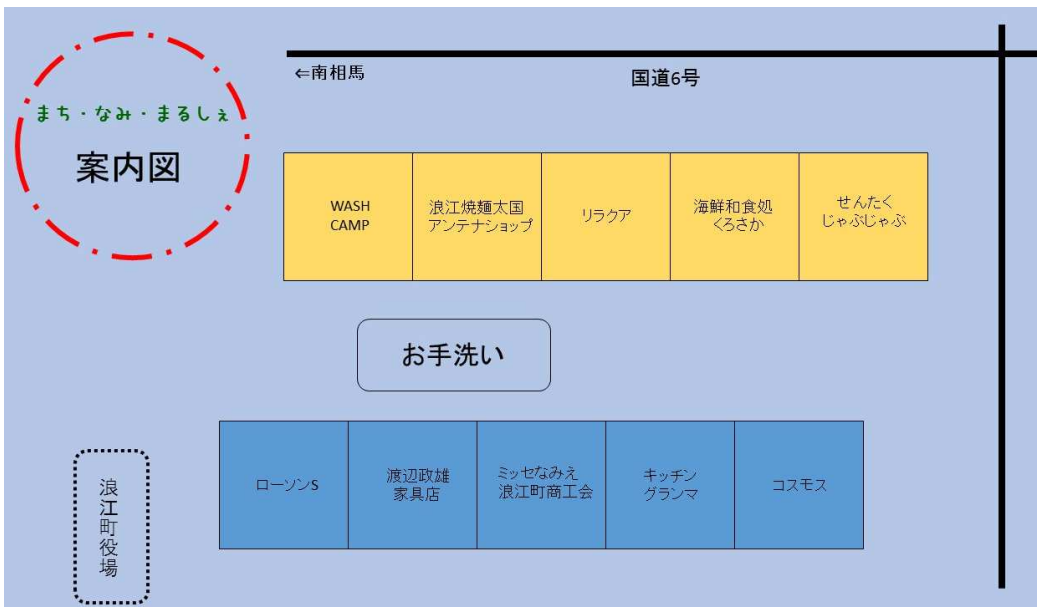
浪江町が、町役場本庁舎の南側駐車場に整備を進めてきた仮設商業共同店舗「まち・なみ・まるしぇ」が10月27日、待望のオープンを果たした。同町では来年3月を目標にする避難指示解除を前に、11月1日には準備宿泊もスタートしたこともあり、町民の利便性が高く、交流を図ることのできる施設として期待が寄せられる中での船出となった各店舗。施設では、懐かしい顔、ふるさとの思い出の味、特産品との"再会"を喜ぶ町民の姿が見られた。

オープンしたまち・なみ・まるしぇ

浪江町の名物も販売

施設は鉄骨平屋2棟、トイレ棟から成る。延べ床面積は約700平方メートルで、飲食店、コンビニエンスストア、クリーニング店、カフェなど、10事業者が出店している。

浪江町の名物として多くの人に親しまれているなみえ焼そばの出来立てを味わえる店舗も登場したほか、浪江町商工会の運営する「ミッセなみえ」では、震災前に町内で営業していた呉服店や生花店などのほか、大堀相馬焼」の品々もそろっている。日用品や食料品、特産品など、数々の品ぞろえに、訪れた人たちは喜びの表情を見せていた。



＜まち・なみ・まるしぇ　営業案内＞

- ローソンS浪江町まち・なみ・まるしぇ店……9:00～17:00（日曜日定休）
- リラクア……10:00～17:00（土曜日・日曜日定休）
- 渡辺政雄家具店ホームセンター部……10:00～15:00（土曜日・日曜日・祝日定休）
- ミッセなみえ……10:00～16:00／冬季は15:00（月曜日・火曜日定休）
- キッチン・グランマ……11:00～14:30（水曜日・土曜日・日曜日定休）
- カフェコスモス……11:00～15:00（月曜日・木曜日・金曜日・日曜日定休、第1・3日曜日は営業）
- 海鮮和食処くろさか…11:00～16:00（日曜日・祝日定休）
- 浪江焼麺太国アンテナショップ……10:00～15:00（土曜日・日曜日・祝日定休）
- せんたくじゃぶじゃぶhopeonegroup……9:00～16:00（土曜日・日曜日・祝日定休）
- ウォッシュキャンプ浪江……9:00～17:00（定休日未定）

楢葉町・上繁岡水田復興会

営農再開の歩み

VOL.6
おいしいお米が出来た～農作業納め

営農再開1年目、稲作に係る、ほぼすべての作業が終わった。収量は約550キログラム、予定通りだ。放射性物質の検査もクリア、全部が1等米の評価を得ることができた。

農作業納めとも、収穫祭ともいえるような試食会を上繁岡水田復興会内で行った。カレーライスを作ったほか、餅をつき、小豆や雑煮などで味わった。

自分たちで5年ぶりに作った米は、やっぱりおいしいなぁ」。復興会代表の佐藤充男さんは顔をほころばせた。育てた「天のつぶ」はつや、食味共に良かったが、仲間たちと作ったことが、味わい深さ、うまみを倍増させたのだった。

佐藤さんたちの田んぼを取り囲んでいた山々は、いつしか赤や黄色に色づき、冬支度に一歩ずつ近づいていた。5年ぶりの営農再開で、心労は絶えなかったが、佐藤さんは、来年もまじめに米を作ろうと、前を見て、進み続ける。それが、住民の帰還につながってくれることを願いながら。

復興支援　楢葉・広野紅葉サイクリング

広野紅葉サイクリング」が11月5、6の両日、広野町、楢葉町を会場に行われた。自転車で町内各地を巡りながら、双葉郡の自然に触れるとともに、復興の現状を見てもらい、地元の人たちと交流することで、地域へのファンを増やし、復興を後押ししようというもので、首都圏などからの約40人の参加者が駆け抜け、さわやかな汗を流すとともに、両町の今を肌で感じた。

近年愛好者が増えているサイクリング。県内唯一のサイクリングターミナル　楢葉町サイクリングターミナル」を拠点に、自転車を通して新たなコミュニティを作り、復興へつなげようと、楢葉町振興公社や、サイクリングイベントの開催ノウハウを持つ南会津サポートクラブ　南会津町）、FURE相双地域支援サテライトなどが実行委員会を組織し、準備を進め、初開催にこぎつけた。

1日目はJR広野駅を出発、整備作業の進む防災緑地を見学したり、浅見川渓谷や大滝などの自然に触れた。天神岬スポーツ公園が同日のゴールで、懇親会も行われ、参加者が交流した。2日目は天神岬から、木戸川渓谷や木戸ダムなどを巡るとともに、コンパクトタウンの整備の様子も臨んだ。

2日間の走行距離数は約60キロで、豊かな自然を満喫するとともに、町職員たちから復興の現状を聞くことで、理解を深めたイベントに。実行委員会では、今後も同種の事業を企画している。

意気揚々と走る参加者。中にはランニングシャツ姿の人も＝広野町

木戸ダムでは青空の下、参加者同士で記念撮影

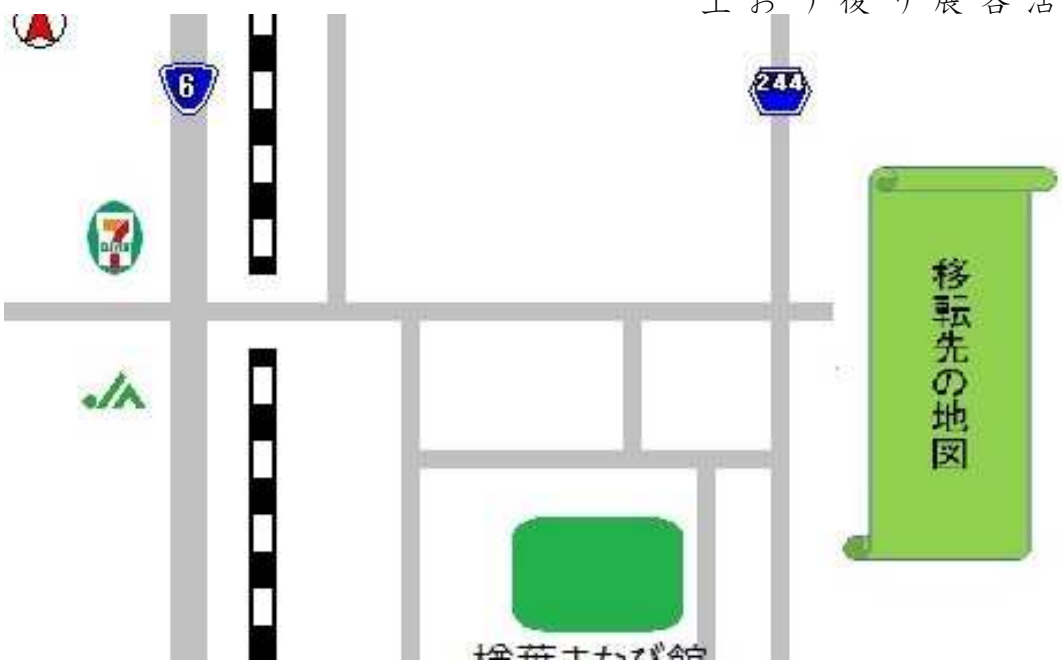
相双地域支援サテライト　移転のお知らせ

相双地域支援サテライトは11月15日、事務所を楢葉町の　おおぞらこども園」から　楢葉まなび館」　楢葉南小校舎）へ移転致しました。

新住所は下記の通りです。双葉地域と大学をつなぐ新拠点として、今後より一層、住民の皆さんに寄り添った支援活動など、各種事業を展開して参ります。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【移転先新住所】

双葉郡楢葉町下小塙麦入３１
（楢葉まなび館内）



川内村フォトコン

締切1/20　作品募集中！

川内村フォトコンテスト」も、引き続き応募作品を募集している。締め切りは来年1月20日　郵送は当日消印有効）。

川内村の魅力発見～写真撮りさ、川内村に来てくんちぇ～」をテーマに、村の人、風景、自然などを収めた作品を募集している。

作品は　風景部門」　大物・イベント部門」の2部門で開催。1人各部門2点まで応募することができる。ただし、川内村で撮影した、未発表のものに限る。

審査委員会の審査で、最優秀賞1点、部門優秀賞各1点、審査員特別賞1点、入選数点などが決まる。最優秀賞には賞状、賞金5万円、川内村特産品、かわうちの湯入浴券がプレゼントされる。

応募先、問い合わせは川内村役場総務課企画制作係＝〒979―1292川内村大字上川内字早渡11の24、電話0240（38）2111、ファクス0240（38）2116＝まで。